

人生の危機に向き合

日時 / 2007年 11月11日(日) 9:00~17:00
 場所 / 東京 弘済会館 参加費 / 5,000円



・基調講演 「危機」から「生きる」へ
 Erika Schuchardt 氏 ハノーヴァー大学 名誉教授
 E. シューハート

・パネルディスカッション 「危機にいかに向き合うか」

<パネリスト>

Erika Schuchardt 氏 ハノーヴァー大学 名誉教授
 E. シューハート



「スピリチュアルケア 危機に生きる人間仲間への援助」
 Waldemar Kippes 氏 臨床バストラルケア教育研修センター
 W. キッペス



「死別体験後のスピリチュアル・クエスト
 — 文化的逆風にチャレンジして —」
 鈴木 剛子 氏 グリーフ・カウンセラー



「自死遺族の悲嘆過程の分析を通して」
 平山 正美 氏 聖学院大学 教授



・一般講演(口頭発表) (事例報告・臨床経験などの発表): 演題募集中
 当日でも出できます。満席になる場合もありますのでお早めにお申し込みください。



西洋医学教育 発祥150年



国際医療倫理シンポジウム

日時 11月3日(土)
 午前と午後の部

場所 長崎大学医学部ボンベ会館
 参加予定人員 100人

午前の部 9:00 - 12:00

Section1 「医療倫理のグローバル化は可能か」

- 講演1 生命倫理の現在と未来
 加藤尚武 先生 (東京大学COE特任教授)
- 講演2 Chinese Medical Ethics ; historical legal modern challenges
 P.Unshuld 先生 (ベルリン大学教授)
- 総合討論 相川忠臣、山下俊一 (長崎大学)
- 主催 国立病院機構(長崎医療センター、長崎神経医療センター、長崎病院、壺)
- 共催 長崎大学医学部創立150周年記念会

午後の部 13:00 - 18:00

Section2 「医のこころのルネッサンスを目指し」

- アルメイダとボンベに医のこころを学ぶ
 相川忠臣 (長崎大学)
- 原爆被災と永井隆から医の倫理を問う
 高橋真司 (長崎大学)
- スピリチュアル・ケア
 Waldemar Kippes先生 (臨床バストラルケア研修教育センター所長)
- Why me? Learning to Live in Crises.
 Erika Schuchardt (ハノーヴァー大学教授)
- WHOにおける医の
 山下俊一 (長崎大学)
- 主催 長崎大学大学院
- 共催 長崎大学医学部



問い合わせ: 長崎大学医学部 原研細胞 TEL.095-849-7116

[参加要件: 申込み不要、市民の皆様も自由にご参加ください。ただし]

